高知県理学療法士協会ニュース

No.173　2022・3・20　発行　公益社団法人 高知県理学療法士協会

「ワッペンに思う」

副会長　大　畑　　剛

皆様の施設では臨床実習生が活動しているでしょうか？写真は高知リハビリテーション学院の学生さんと徳島文理大学の学生さんの実習着にあるワッペンです。この二つを見た若い職員が「えっ！そっくり」とびっくりしていました。オリジナルはもちろん高知リハビリテーション学院のものですが、文理大学はその流れを汲んでデザインされたとのだと思います。

さて、私が学生だった頃（平成初期）の臨床実習生の腕にはワッペンは当たり前のようについていました。いわば学生の印がワッペンといったところです。その頃の臨床現場は今思うとよくあれでやっていられたと思うことばかりで、一日あたりの担当患者数は36人＋α（物療のみで算定）で一度に５人まで同時に対応する時代でした。学生は、まさに弟子（クリニカルクラークシップ）となりスーパーバイザーの指示されたメニューをこなし、スーパーバイザーが休みの時はその代行を任される（？）こともありました。私の母校高知医療学院にも当時ワッペンがありましたが、高知リハビリテーション学院のような刺繍仕様ではなく茶色のフェルト製でした。洗濯でもしようものなら、たちまちくしゃくしゃになり装着するのが恥ずかしくなってしまうものでした。

あれから30数年、臨床実習のスタイルは大きく変化しました。現場で指導するスーパーバイザーは厚生労働省の指定された講習会を修了したものとなり、実習生に対しても、実習時間の上限値を徹底し、チームの一員として、主体的に臨床（実習）参加が臨めるような対応が必要となってきました。さて、次に変わるとすれば、学校の実習に対する係わりだと思っています。看護学生の実習には必ず養成校が教員を常時配置することが当たり前となっており､臨床教育を自前でコントロールしているように思います。我々の業界では、まだまだ臨床現場との信頼関係に頼っての実習となっているのが現状です。いつの日にか学校の先生方と一緒になって合同臨床教育が実現できたら学生・学校・臨床現場にとって、共に安心な環境での実習が行えると思えます。先生方の積極的な臨床実習参加をお待ちしております。

このニュースが発刊される頃には、新型コロナウイルス感染症の終息と安心して臨床実習が行えることを切に望んでおります。

No. 173

◇「ワッペンに思う」…… 1
◇各部紹介 …… 2
◇会員紹介 …… 5
◇生涯学習制度～登録理学療法士と認定・専門理学療法士の更新について …… 6
◇新年交流会に参加して …… 8
◇知読万恵 …… 9
◇令和３年度中央東区域新人発表学術集会を終えて …… 10
◇賛助会員の皆様 …… 11
◇編集後記 …… 12

各部紹介

【福祉部】

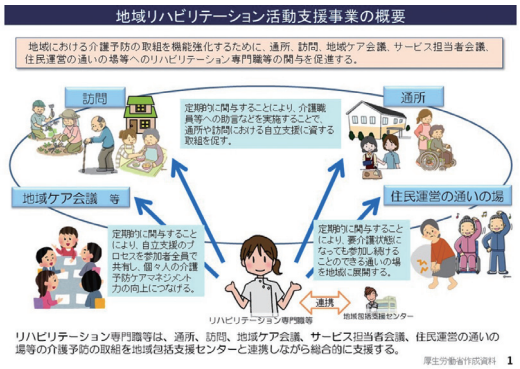
部長　森野　勝憲（須崎くろしお病院）

高知県理学療法士協会福祉部は11名の部員で構成されています。主に社会福祉、介護保険、小児分野に関する内容を担当し、研修会の企画・運営、会員区活動部と連携した研修会の開催、関連する会合等への参加に加え、地域包括ケアシステムの推進に向けた取り組みや、高知県リハビリテーション職能三団体協議会への協力等を行っております。

リハビリテーション専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）で構成されている高知県リハビリテーション職能三団体協議会は、地域でリハビリテーション専門職が活躍できるよう人材育成を行っています。日本理学療法士協会は『地域包括ケアシステム』を推進するにあたって、「地域ケア会議」、「介護予防」の２つの施策に重点を置き、地域包括ケアシステムに関わることのできる人材の育成をすすめており、県内でも【地域ケア会議推進リーダー】、【介護予防推進リーダー】の２つの認証コースを取得できるように研修会を開催しています。加えて、地域ケア会議初回研修、スキルアップ研修、模擬ケア会議研修を行い、各市町村で開催されている地域ケア会議にアドバイザーとして参加できる人材を育成しています。また「地域リハビリテーション活動支援事業」を活用し、地域における介護予防の取り組みを機能強化するために、通所、訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の通いの場、あったかふれあいセンター等へのリハビリテーション専門職等の関与、派遣を県内各市町村と連携を取りながら行っています。

また、小児分野で精力的に活動されている方を県外よりお招きし、実技を含めた研修を行っています。小児リハ施設ガイドの更新を随時行いますのでご協力よろしくお願いします。

以上、福祉部は地域の方々がいきいきと安心して暮らせる街作りに参画できるように今後も人材の育成に努め、地域貢献、社会福祉貢献を行っていきます。



出典：厚生労働省資料

【学術部】

部長　島岡　秀奉（高知県立あき総合病院）

学術部は、会員皆様の学術研鑽を支援する目的で３つの活動をしています。１つ目は学術誌である「高知県理学療法」の特集の企画と編集、投稿される論文の査読です。２つ目は高知県理学療法学会の運営で、学会ホームページの作成とプログラム集の編集、会場の設営などです。３つ目は年３回の定期研修会の企画と当日運営を行っております。2020年の新型コロナウイルス感染症のため2020年２月に開催された第33回高知県理学療法学会を最後に対面での研修会、学会の開催ができなくなり、コロナ禍でどのように研修会、学会を運営すればよいのか分からず、2021年度上半期の研修会はすべて中止する事態となりました。混迷する中、できる限り学術研鑽の機会を途切れさせないように、オンライン形式での研修、学会の計画を、他県士会からの情報や他の学会の運営方法など参考に手探りで企画し、多くの会員が参加できる方法を学術部部員が一丸となり計画しました。対面形式の研修会や学会と比べれば、まだまだ参加や聴講に制約がありますが、会員の皆様へ新しい知見や明日から役立つ知識また技術をできる限り提供できるよう部員全員で努力しております。2022年度は新生涯学習制度が始まります。これまで以上に会員の皆様の積極的な論文投稿、また学会、研修会へのご参加をお待ちしております。

学術部

【教育部】

部長　高芝　　潤（近森リハビリテーション病院）

教育部部長の高芝です。教育部では、日本理学療法士協会の生涯学習制度の基づき、毎年様々な講習会を開催しています。特に2022年度からは新制度開催年であり、今までの新人教育が一新され、高知県理学療法士協会教育部でも新たな生涯学習計画のもと、様々な研修会を企画しています。特に例年行われていた新人発表は、後期研修の症例検討会に形を変え開催する予定であり、登録理学療法士の取得のために必須となる研修です。高知県理学療法士協会では１例以上の症例報告を推奨いたしますので、是非とも参加のほどよろしくお願いいたします。併せて、理学療法士講習会で行われていた各研修会については、高知県理学療法士協会主催の研修会へと形を変え開催いたします。こちらも、登録理学療法士の更新、及び専門・認定理学療法士の更新のために必要な点数、もしくはポイント取得が可能となります。もちろん、高知県理学療法士協会会員の皆様には参加しやすい研修会となっておりますので、奮ってご参加ください。また、来年度の新人の皆様には、６月に「初期研修」を予定しています。皆様の職場に入職した新人には、是非とも参加を促してして頂きますようによろしくお願いいたします。

以上のように、教育部では高知県理学療法士協会会員の皆様の生涯学習の円滑な遂行と、高知県在住の理学療法士の質向上に貢献するべく日々邁進しております。高知県理学療法士協会会員の皆様においては、生涯学習推進のためご協力のほどよろしくお願いいたします。

【厚生部】

部長　相原　一輝（インソール＆フットケアあしすと）

厚生部では会員の福利厚生を目的に、新入・転入会員歓迎会、会員交流会などを開催しております。例年、歓迎会では100名近い会員が参加し新入会員との交流の場となっており、新年交流会では恒例の豪華景品があたるビンゴ大会などで大いに盛り上がっております。

しかし、近年の新型コロナウイルス感染症の流行によりこれらの活動は著しく制限されております。そこで、歓迎会を開催できなかった令和２年度、令和３年度につきましては、歓迎会に替わって入会記念品をお贈りし、新年交流会はオンラインにて開催しております。

時代の変化と会員のニーズに合わせて本会の福利厚生の形を変化させていきたいと思っておりますので、福利厚生に関するご要望がございましたら厚生部までご連絡ください。

厚生部スタッフ

【職能部】

部長　宮崎　貴仁（高知病院）

職能部は、日本理学療法士協会（以下、日理協）より配布されている「協会指定管理者研修ならびに管理者ネットワークの活動に関する説明書」を基に、【協会指定管理者研修】を年１回、【管理者ネットワーク研修】を年２回開催しています。

日理協が主催する協会指定管理者研修の初級編は、日理協の求める管理者像や、すべての領域の理学療法士が身に付けるべき基本的な臨床能力を共有することを目的としています。さらに日理協主催のｅ－ラーニングによる上級編は、理学療法士の将来像の把握や管理者に必要な基本的知識・資質を学ぶ事ができます。

次いで管理者ネットワーク研修は、【地域】および【職域】において各施設の管理者同士の関係作りを促し、何か課題が生じた場合に互いに有機的に助け合えるよう組織化する事を目的としています。

会員各位の職場では大なり小なり管理業務を担う理学療法士は多いはずです。

ただ管理上困っても相談できる相手がいるとは限りません。そこで上記研修を通して自組織外の管理者と情報交換や相談をすることで、多種多様な管理実践に触れられることが期待できます。ぜひ、研修へのご参加お待ちしています。

職能部スタッフ

【保健部】

部長　木下　雄介（介護複合施設　輝）

保健部では、県民の健康増進およびその関心を高めるため、理学療法の啓蒙活動や、スポーツ競技や大会に理学療法士を派遣しサポートを行う体制作りを行っています。コロナ禍でリモートでの保健部会（月に１回）も定着しております。

①啓蒙活動では、コロナ禍で理学療法週間の対面イベントは中止とし動画作成(理学療法の紹介)、リレーフォーライフへの参加。

②スポーツ競技サポートでは、NPO法人高知市陸上競技協会より大会時の救護所活動、第１回日本社会人女子バスケットボールフレンドリーシップ50救護所活動、第21回全国障害者スポーツ大会（三重県）でのトレーナー活動、高知龍馬マラソン2022での救護所活動で依頼がありましたが残念ながら何れもコロナ禍のため中止となりました。また、テーピング講習会等実技講習も行っております。

他団体とかかわる事業も多く、学ぶべき事も多く感じることができます。まさにSDGｓを意識しながらの活動ではないかと思っております。たくさんの事業で会員皆様の御協力が必要となりますのでその際は何卒宜しくお願い致します。

会員リレー紹介

高知生協病院　**花岡　里菜**

はじめまして。高知西病院の吉名祐人くんからバトンを受けました、花岡里菜と申します。今回は「会員リレー紹介」ということで自己紹介をさせて頂くことを嬉しく思います。

私は高知リハビリテーション学院43期卒業後から高知生協病院に勤務しています。当院は高知県内に１つの病院と３つの診療所があり、急性期から在宅医療まで診療しています。また、高知県だけでなく全国にも106の医療生協があり、「いつまでも健康でありたい」と願う組合員さん自らが出資・利用・運営し、医療の専門家と一緒に健康づくり運動を進めています。主に班会活動（健康チェック、健康に関する学習会、健康づくり体操、趣味や特技を活かした活動）や高齢者のひとりぼっちをなくすためのたまり場づくり・ふれあい訪問などなど組合員さんが主体となった活動にも力を入れています。

仕事の話はそこそこに、私の趣味を紹介します。私の趣味はよさこい、旅行、キャンプです。どれも新型コロナウイルス感染症の影響で制限されたことばかり…。元々アウトドア派なので、家でじっとしても居られない！ということで、最近は新たな趣味を模索中です。例えば、普通自動二輪免許を取り250ccのバイクに乗り始めたり、魚もエサも触れないのに友達のお世話になりながら釣りをしたり、かぎ針編みで甥の帽子や椅子カバーを作ったり、乗馬をしたりしました。これらが趣味として継続できるかは分かりません。早く新型コロナウイルス感染症が落ち着いて、何も気にすることなく友達と旅行やキャンプができたらいいなと思っています。写真は昨年の冬、専門学校時代の友達とキャンプをした時に撮影したものです。会員の皆様やご家族の方もお身体に気をつけてお過ごしください。

簡単ではありましたが、以上で私の紹介とさせていただきます。読んでいただきありがとうございました。次は同じ病院勤務の井上大志くんにバトンを回します。

高知県・高知市病院企業団立高知医療センター　**西森　大地**

みなさん、はじめまして、こんにちは。学生時代の同期でJCHO高知西病院の市川祐生君からバトンを受けました、高知県・高知市病院企業団立高知医療センターの西森大地と申します。よろしくお願いいたします。

私は高知リハビリテーション学院卒、12年目の理学療法士です。専門学校卒業後は長期実習を通して県外の大規模総合病院に就職したいというこだわりが強かったものの、ことごとく就職試験に合格できずなかなか就職先が決まりませんでした。新年度になっても就職先が決まらず入職できたのは５月からと同期の皆とは１か月遅れのスタートとなってしまいました。その後、約３年間愛媛県の県立病院、２年間大阪府の大学病院を経て、理学療法士６年目で帰高し、現在の職場へ在籍しております。県外での経験は知見も拡がりとても有意義であり、県外就職はおすすめします。

私生活では、インドアなため外出を好みませんでした。しかし新型コロナウイルス感染症が流行し始めて、職場の行動自粛要請で県外への旅行ができなくなってしまうと、旅行がしたくなるものです。家族と旅行に行きたくて行きたくて仕方がなかったです。新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着いた時期があり、職場の行動自粛要請も緩和され、県外へ家族旅行に行けたときはとても楽しく過ごせ、良い思い出ができました。写真は香川県の四国水族館を訪れた時の写真です。初めて見るイルカショーは私が家族で一番はしゃいでいました。

以上、簡単ではございますが、自己紹介でした。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

次は学生時代の後輩の、高知県立あき総合病院の栗山安広君にバトンタッチします。栗山君よろしくお願いします。

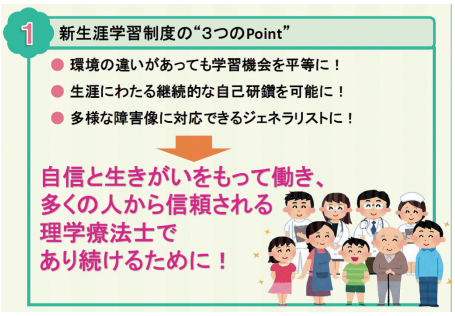
※バトンを引き受けた会員の皆様は、令和４年４月末までにkouhou@kopta.netまで原稿をお送りください。

生涯学習制度～登録理学療法士と認定・専門理学療法士の更新について

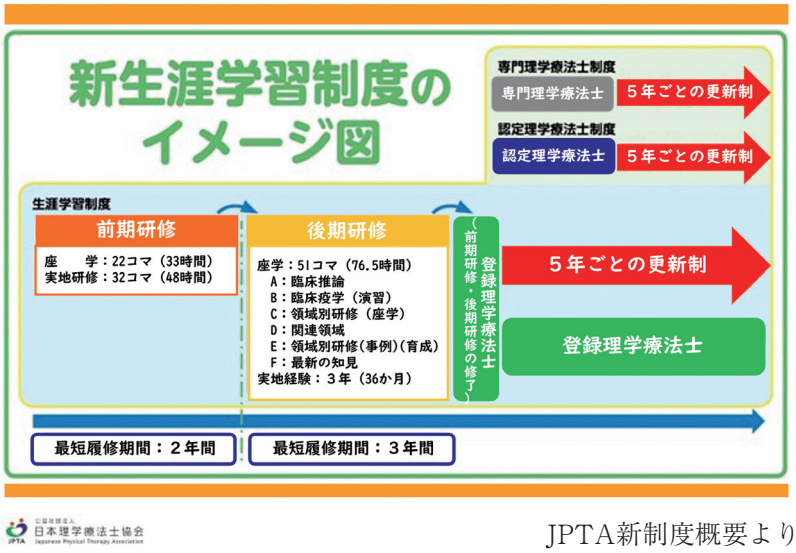
教育部　高芝　潤

いよいよ2022年４月より新生涯学習制度が開始となります。

その中で今回は、多くの方が気になっている「登録理学療法士」と「認定・専門理学療法士」の更新について説明します。



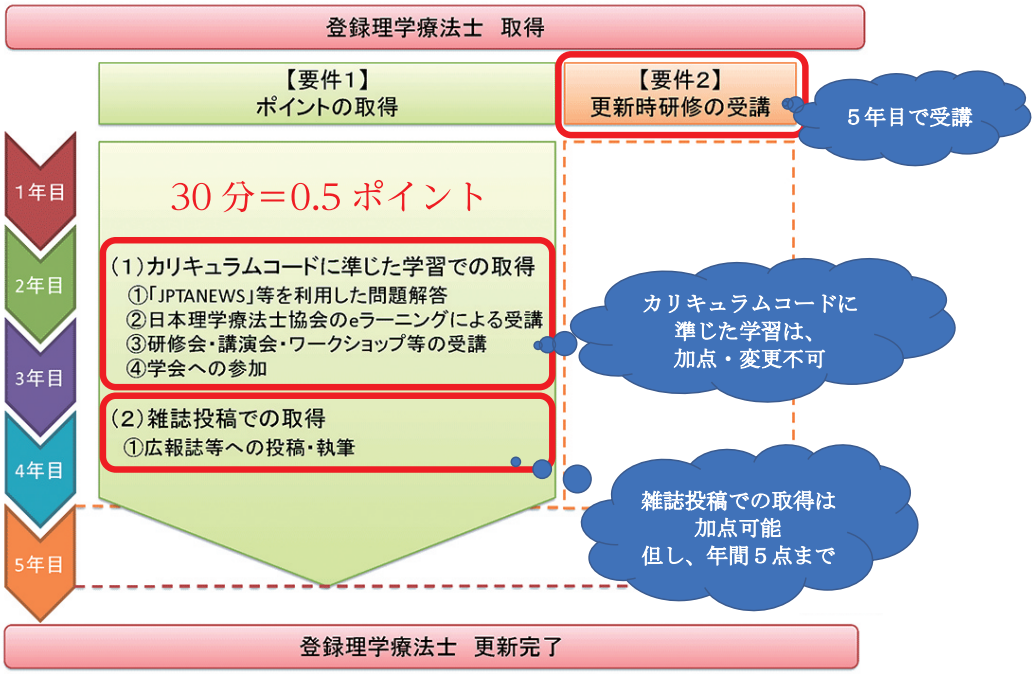
JPTANEWS４月号より



JPTA新制度概要より

○登録理学療法士は５年ごとの更新制です。

生涯学習の土台は「登録理学療法士」を取得し『更新』し続けることであり、継続的に自己学習・研修を行います。どのような環境（居住地域、多様な働き方・職場環境、ライフイベント等）であっても、「登録理学療法士」を更新し続けることができる仕組みです。その概要は、①会員としての権利（サービス）を最大限活用、②所属施設内での学習や地域での学習など『職場基盤型』を軸とした制度、③オンラインコンテンツの拡充となっています。



JPTA　HP登録理学療法士の更新より

注意：

カリキュラムコードに準じた学習は、それぞれにカリキュラムコードが一つ設定されています。もし、指定されたカリキュラムコードについてポイントを取得すると、次から同一カリキュラムコードの学習を行ったとしてもポイント取得になりませんのでご注意ください。但し、研究会等の参加を抑制するものではありません。受講済みのカリキュラムコードが指定されていたとしてもご自由に参加ください。

○認定・専門理学療法士の更新

・５年毎に更新制とし、取得期間の最終年度に更新申請を行うことが必要となります。
　なお、一定の条件で更新延長を設けます。また、６回目以降の更新要件は緩和される予定です。
・登録理学療法士を取得していることが認定・専門理学療法士の更新要件となります（登録理学療法士失効者は該当しない）。したがって、登録理学療法士の更新は別に必要となります。
・「認定理学療法士・専門理学療法士更新に関わる履修点数基準」は別途定めますが、研修時間を点数に換算する仕組みを導入しています。（30分＝0.5点）
・新制度における認定・専門理学療法士更新に関わる点数取得について、領域の規定はありません。更新の際には、どの領域の活動でも対象となります。

「認定理学療法士・専門理学療法士更新」の基本構造

以下の１から３の何れも満たすこと

１．下記のいずれかの活動を１つ行うこと（２．の100点には使用できない）
　・都道府県理学療法士会学術雑誌への投稿（筆頭著者に限る）
　・ブロック主催学会での一般発表の筆頭演者
　・都道府県理学療法士学会での一般発表の筆頭演者
２．維持・研鑽のための活動における100点の取得（点数基準は別に定める）
３．更新時研修（集合研修１日程度で、ｅラーニングも準備を想定）

JPTA　HP認定・専門理学療法士の更新より

○2021年度までの現行制度における認定理学療法士・専門理学療法士を申請・更新された方について、新制度移行後の更新時期を公開しております。該当の方には、2020年11月上旬に個別に案内を発送されています。
　なお、2018年度・2019年度入会の方で、認定理学療法士を取得された方は、認定理学療法士（暫定）への移行となります。

注意：

カリキュラムコードに応じたポイント、及び認定・専門理学療法士更新に関わる点数は、各研修会の受講時に受講者が選択することになっています。５年間の計画をもって、各受講者が選択ください。なお、途中変更は不可能となっていますのでご注意ください。

［お問い合わせ先］
高知県理学療法士協会 教育部
高芝　潤 E-mail：kyouiku@kopta.net

新年交流会に参加して

竹本病院　長崎　瑞稀

今回この交流会に参加したのは、リハビリ部署内の回覧がきっかけで、参加した理由には大きく３つあります。

１つは単純に交流会へ参加することで他施設の理学療法士と交流を持ち、新しいコミュニティを見つけたいと思ったこと。１つは交流会参加にあたり、景品ありとの記載を見たため少し興味があったこと。１つは先輩方とこの交流会について話をしており、参加して感想を聞かせてくれないかと頼まれたこと。

この３つが今回参加した理由です。当日までは緊張や不安が大きく、１人でも知り合いがいないかと心配していましたが、参加してみると母校の先生が数名おり安心しました。また、少人数のグループでの会話も他施設の理学療法士と打ち解けることができました。

今回のメイン？でもあるくじ引き大会では豪華景品が出ており、当たれば良いなという気持ちでした。続々と呼ばれるなか、一向に呼ばれないので諦めていると当たったので嬉しく思いました。初めての参加、初めてのオンラインでの交流会は刺激をもらえて楽しく思いました。対面での交流会もあれば参加してみたいです。

今後の意気込み

高校生の頃から憧れていたこの理学療法士という職業に就けてとても嬉しく思います。

４月で２年目を迎えるところでありますが、初心忘れず日々の勉学や講習会に参加し、切磋琢磨していきたいと思います。

現在は認知運動療法について興味があり、文献等にて勉強している最中であります。今後は認知運動療法の講習会に参加し、スキルアップを目指していこうと思います。

この認知運動療法を臨床で活用し、１人でも多くの患者様に笑顔になって帰っていただきたいと思っています。ここまで長々と書いて参りましたが、今回のオンラインでの交流会に参加させていただきまして、ありがとうございました。

私たちは、福祉用具のレンタル販売・住宅改修などを通じて、
快適な在宅介護をお手伝いします。

株式会社トーカイ

高知営業所　事業者番号：3970104919

〒781-0087　高知県高知市南久保 14-10
TEL 088-885-6511　FAX 088-885-5943

https://www.tokai-corp.com/
フリーダイヤル　0120-00-6500

知読万恵

余聞

図説 医学の歴史
〈坂井建雄著，医学書院．2019〉

土佐名醫列傳
〈中島鹿吉著，青楓会．1935〉

高知県内で、最も旧く歴史のある医療施設は、何病院かご存知だろうか。

文明開化による西洋医学の本格的導入に伴い、明治３年(1870年)に五台山に「吸江(ぎゅうこう)病院」が開設された。しかし２年で廃止となり、これに代わり明治５年(1872年)に、帯屋町に「興基病院」が設立された。この興基病院は、明治７年(1874年)に「公立高知病院」となり、その後、明治15年(1882年)に高知縣立醫学校「附属高知縣立病院」になる。そして明治20年(1887年)に「高知縣立病院」となったが、明治26年(1893年)に廃止となり、町田旦龍氏に払い下げられ、私立高知病院となった。明治28年(1895年)に野並魯吉氏が高知病院の院長に着任、県下初の開腹手術で名声を馳せた野並魯吉氏へ明治43年(1910年)に高知病院の全権が移譲された。これが歴史であり、病院の場所は帯屋町から県庁前にそして第２次大戦後は相生町に移転されたが、答えは「高知病院」である。なお、国立高知病院は、明治31年(1898年)に陸軍病院として開設されている。

より詳しく知りたい向きは、オーテピア高知図書館で、古書『土佐名醫列傳(土佐名医列伝)』を閲覧されたい。

＊*暦年は土佐名醫列傳による。*

（山本双一）

コルセット・装具・義足・義手・杖
宮本義肢製作所
（社）日本義肢協会 登録番号 中四国 143
代表者 門 脇 伸 仁
高知市土居町11－15　TEL＆FAX (088) ８３３－６８６４

令和３年度　中央東区域　新人発表学術集会を終えて

南国中央病院　横山　成斗

私は身体面だけでなく精神面でも患者様の心から寄り添えるような理学療法士になりたいと思い、土佐リハビリテーションカレッジに入学しました。第56回理学療法士国家試験に合格し令和３年４月より南国中央病院に入職しました。入職後は、社会人１年目としてまた理学療法士として業務を覚えるとともに、１人ひとりの患者様との時間を大切に、より質の高いリハビリテーションを提供できるよう日々精進しております。入職してからは、臨床実習の時とは違い患者様とより長く接することが出来るようになりました。たくさんの患者様の入院から退院までの経過に携わる中で、どのような点に着目した情報収集が必要か、またどのように個別的にリハビリテーションを展開していくかを日々学んでいます。今回、院外症例発表を行う機会をいただき、１人の患者様についてより深く症例を検討することができました。発表させていただいた患者様は、疾患だけでなくその患者様の生活背景を考慮したアプローチが必要な症例でした。対象の患者様が決定した９月初旬より、評価を開始しました。今回の症例では、さまざまな既往歴や問題となりうる生活背景があったため、どの点に向けて介入すべきかを評価することが必要でした。学校で習得した評価方法に加え、先輩方にご教授いただき臨床的な評価技術も活用し患者様の状態把握を行いました。その結果から予測された原因に対して、周囲と情報共有、多職種連携を行い、目標に向けたアプロ―チを行いました。最終的には目標の動作を達成するだけではなく、私が予測していた以上の日常生活動作の獲得に至ることができました。11月より２度の院内発表、12月にはリモートでの院外発表を実施させていただきました。先輩をはじめOTやSTの先生方からのご意見やアドバイスをいただき自分の視野を広げるとともに、様々な視点から患者様を振り返ることができました。今回の症例発表を通して、生活や身体機能を改善する上で、病前の生活を介入時より把握し一人一人にあったリハビリテーションの提供が必要であることを改めて学びました。また、自分自身の予後予測能力が不足しておりゴール設定の難しさを実感しました。

これからは、日々のリハビリテーションの中で治療と評価を繰り返し行い、適切なゴール設定ができるように取り組んでいきたいと思います。そして、目標としている理学療法士像に向け目の前の患者様と向き合うとともに、私の強味であるコミュニケーション能力を活かしご家族様へのアプローチも積極的に行っていきたいと考えております。最後になりましたが、ご指導いただきました先生また先輩方、そして発表の機会をいただきました、中央東区域学術集会主催の方々に深くお礼を申し上げます。今後ともご指導・ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。

賛助会員の皆様

令和３年度賛助会員名簿

施設名	住所	診療科・他
(医)青山会 青山整形外科	〒781-5103　高知市大津乙1877－４ TEL 088-866-5366　FAX 088-866-5366	整形外科・リハビリテーション科・リウマチ科
(医)新松田会 高知医療学院	〒781-0270　高知市長浜6012-10 TEL 088-842-0412　FAX 088-841-1783	理学療法学科
(学)高知学園 高知リハビリテーション専門職大学 高知リハビリテーション学院	〒781-1102　高知県土佐市高岡町乙1139－３ TEL 088-850-2311　FAX 088-850-2323	理学療法学専攻・作業療法学専攻・言語聴覚学専攻 理学療法学科・作業療法学科・言語療法学科
(医)白菊会 白菊園病院	〒781-1154　土佐市新居萩の里１ TEL 088-856-1101　FAX 088-856-3364	内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、外科、整形外科、脳神経外科、消化器外科、小児科、リハビリテーション科
社会医療法人 近森会	〒780-8522　高知市大川筋一丁目１-16 TEL 088-822-5231　FAX 088-872-3059	近森病院（地域医療支援病院）、近森リハビリテーション病院（回復期リハビリテーション）、近森オルソリハビリテーション病院、総合心療センター近森
(学)土佐リハ学院 土佐リハビリテーションカレッジ	〒781-5103　高知市大津乙2500-２ TEL 088-866-6119　FAX 088-866-6120	理学療法学科・作業療法学科
(医)仁智会 ヘルシーケアなはり	〒781-6402　安芸郡奈半利町乙3740番地1 TEL 0887-38-5566　FAX 0887-38-5564	介護老人保健施設
(社医)仁生会 細木病院	〒780-8535　高知市大膳町３７番地 TEL 088-822-7211　FAX 088-825-0909	総合診療科、内科、外科、整形外科、小児科、耳鼻咽喉科、緩和ケア科、放射線科、泌尿器科、脳神経センター（脳神経外科）、専門外来、セカンドオピニオン外来、病理診断科、麻酔科
(株)リハライフ	〒781-8007　高知市仲田町６-24 TEL 088-856-6667　FAX 088-856-6668	通所介護事業所（デイサービスセンター）

1970年、高知リハビリテーション学院訓練室で開催された講習会の一コマ。

講師は高知リハビリテーション学院の専任講師としてアメリカから招かれた若きアイズマン(現:清水 ミッシェル アイズマン) 先生、座長と通訳を務められたのはアメリカ留学から帰国され子鹿園(現:高知県立療育福祉センター) 園長に就任されて間もない江口壽榮夫先生。

《江口先生の肩にかけられた当時では最新のポータブル拡声器に、時代が偲ばれる》

(文と写真：山本双一)

編集後記

早春の候、皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。173号では、特集として新人症例報告会や２月に開催されたリモート新年交流会に関する記事を取り上げました。コロナ禍で色々なイベントが中止を強いられる中、工夫を凝らし、形を変えながらも目的に向けてアプローチを考える裏方スタッフの努力は敬服の念に堪えません。対面で交流する機会が減り、人間関係がついつい希薄になってしまいがちな世の中ですが、我々も協会員同士のつながりをより一層強固にし、盛り上げていけるよう広報という形でバックサポートに努めていきたいと考えております。昨年末には高知県理学療法士協会のホームページも一新され、来年度には会員専用ページの開設も予定しており、協会員の皆様にもより有益な情報がお届けできることと思います。来年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

(濱尾英史)

高知県理学療法士協会ニュース　No.173　令和４年３月20日発行

発行所　公益社団法人　高知県理学療法士協会
〒780-0054　高知県高知市相生町１-25　レジデンスノナミ107号室
TEL & FAX (088) 879-8023
http://www.kopta.net　　e-mail:jimukyoku@kopta.net

発行者　宮 本　謙 三
広報部編集委員会